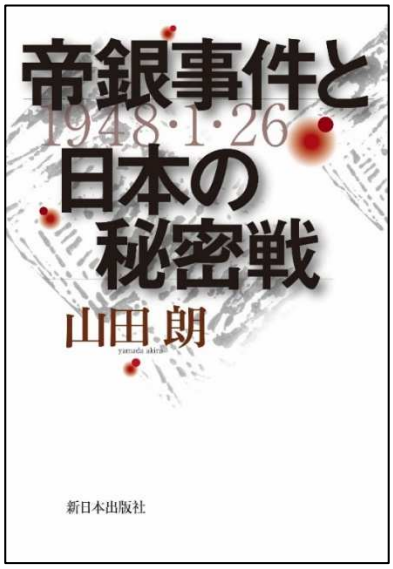
＜ヒロシマ　連続講座＞　　第 119 回

2021 年 1 月 16 日（土）　13:00～16:00

帝銀事件と日本の秘密戦

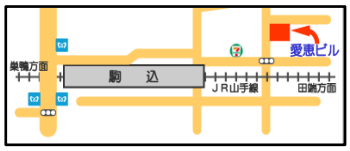
お話　山田　朗さん

（明治大学文学部教授
・登戸研究所資料館館長）



犯罪史上、類例のない帝銀事件。
特捜部は執念の捜査で、ついに日本の秘密戦機関・部隊のほぼ全貌を明らかにしていく。しかし、そこに立ち塞がった「捜査の壁」とは? これまで問題にされた GHQ の捜査介入だけでなく、警察内部資料を分析して日本の秘密戦関係者の免責措置が GHQ によってとられていたことを確認。戦犯免責取引が解明される。

★場所；愛恵ビル 3F（公益財団法人愛恵福祉支援財団）東京都北区中里 2-6-1
→JR 山手線駒込駅（東口）から徒歩 2 分 or　地下鉄南北線駒込駅から徒歩 7 分



★資料代；1,000 円
★企画　「ヒロシマ連続講座」（竹内　良男）

・感染予防対策（マスク、手洗い･･･など）を十分にしてご参加ください.
・資料準備のため、必ず事前に、電話 or メールで申し込んでください.
電話　090-2166-8611　申込先アドレス ＝ qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp
・コロナの状況では「延期」になることも考えられます。緊急連絡に備えて、申し込みの際、名前の他に「電話番号」or「アドレス」をご連絡下さい。

＜予告＞　第120回　　テーマ　「葛根廟事件」を生き残って

2021年1月30（土）　10:00～15:00

[（駒込での）証言と（目黒の）慰霊碑参拝]

大島　満吉さん　　[事件からの生き残りの方]

1945年8月14日、ソ連軍の攻撃で1,000人以上が殺された満洲・葛根廟事件の現場にいた大島満吉さんのお話を伺い、午後は、目黒にある五百羅漢寺の慰霊碑にお詣りします。